

# 現代焚書

## 総集編1

2021年までのヨーシヤの軌跡

恢徳堂

# 現代焚書 総集編 1

2021年までのヨーシャの軌跡

ヨーシャ 著

2022-01-15 版 発行

## まえがき

この度は、現代焚書総集編1をお求めいただき誠にありがとうございます。

著者：ヨーシャ <iosha@huidereyen.info>

現代焚書は、既存の価値観への厳しい批判で知られる中国の陽明学思想家、李卓吾の『焚書』から名を取った、現代における様々な事象を時にはわかりやすく、時には厳しく批判していく同人誌のつもりでした。気がつくくと、マンガ・アニメ・ゲームなどのオタク文化を論の入口とし、内容もかなり柔らかいものへと変化いたしました。いろいろな物事を独自の視点で切り取って論じるというスタイルを守っていかうと思えます。そして、ペンネームも「イオシフ恢徳野人」から「ヨーシャ」に改めることになりました。そのため、「イオシフ恢徳野人」名義で発表した作品も「ヨーシャ」名義に変えていたりしますが、中身は基本的に変えていないのでご安心ください。

気がつくくと、2015年に初めて同人誌を出してからかなりの年月が経ってしまいました。いろいろな変化がありましたが、時の流れと共に考え方が変わっていく様子をこの一冊から感じ取っていただけるととてもありがたいです。

# 現代焚書第1号 まえがき

著者：ヨージヤ <iosha@huidyeren.info>

現代焚書は、既存の価値観への厳しい批判で知られる中国の陽明学思想家、李卓吾の『焚書』から名を取った、現代における様々な事象を時にはわかりやすく、時には厳しく批判していく同人誌です。

当初の予定ではゲストも交えた一つの討論誌とする予定でしたが、今回はほぼ私、イオシフ恢徳野人による単独執筆という冒険に賭けてみることにしました。

ゲスト原稿を楽しみにされていた方には心からお詫び申し上げます。

今号のテーマは、私一人による、オタク文化における様々な作品の評論から、現代社会の諸問題を少しずつ分析していくというアプローチで書かせていただきました。お手にとってご覧いただければ幸いです。

第1巻は、運が良ければ、冬のコミックマーケット89にて頒布しようという野心に燃えております。どうぞ、ご鑑賞ください。

## 現代焚書まどかマガカ特集号 Madokaist まえがき

この度は現代焚書第10号を手にとっただきありがとうございます。

著者：ヨージヤ <iosha@huidyeren.info>

前号では「魔法少女まどか☆マガカ」評論に名を借りた比較宗教学っぽい内容であったり、なぜ自分がエルフ萌えかを書いていたら結果的にヘイトスピーチ批判になっていたりともものすごい脱線をしてしまった感がありますが、今回はまどかマガカを再構成し、新たな内容を加えた1冊仕上げてみることにしました。

それと共に、前号で書き忘れていたことも補足として書きました。特に、ほむらが救われることの意味については、本を出してから書き忘れていたと気がついたわけで、これを書かずにはいられませんでした。

またもや難しい内容になりますが、もしよろしければご一読くださると幸いです。

## 現代焚書第3号まえがき

著者：ヨーシャ <iosha@huidyeren.info>

この度は現代焚書第3号を手にとっただきありがとうございます。

今回、同人評論総集編と題して過去の内容もすべて含んだ新刊にしました。さらに、書き下ろしとして、「コンテンツから見ると『人間』とは何か」という事で、書き下ろし三章を加えています。

とはいえ、「けものフレンズ」と「ONE（輝く季節へ）」の二作品しか言及できなかった上に、かなり脱線した内容になってしまったかもしれません。

さらに、今回の内容ではかなり重い話も増えてしまいました。宗教的な人間の尊厳に始まり、ジェンダー論に生物学的繁殖戦略、さらにはロスジェネ世代論と脱線した結果、当の作品の話はあまりなくなってしまうように思います。

ただし、今回の内容で得るものを得てくれれば、それが喜ぶのだと思います。

私の一冊が、いろいろなことを考えるきっかけになってくれることを祈っています。

## 現代焚書第4号 まえがき

現代焚書第4号をお手にとっただきありがとうございます。

著者：ヨーシヤ <iosha@huidereen.info>

今号は、近年特に取り上げられている障がい者差別と障がい者雇用の問題について持論をまとめてみました。とりわけ、今年（2018年）にはNHKでも発達障がい詳しく取り上げられるようになり、私自身も抱えている発達障がいに光を当てた番組作りをしてくださいました。私のケースを紹介させていただくと、私の勤務している会社がクローズアップ現代プラスで取り上げられました。

その一方で、「障がい者」を巡る差別と人権の問題があまりにも多い現代について、気がかりなどところがあるので合わせて書くことにしました。私が、歴史学を学んだ者として、歴史や経済など参考にした部分もまとめさせていただきました。また、聖書など、宗教的な文脈からの引用が見られるところがありますが、布教活動というわけではなく、クリスチャンという個人的な立場に立って論じたものであります。

今回のテーマを通じて、障がい者と人間の尊厳という問題に注目してくれることを祈っています。

# 現代焚書第5号 まえがき

この度は現代焚書第5号を手にとっただきありがとうございます。

著者：ヨシヤ <iosha@huidyeren.info>

今回は最近流行っている「ウマ娘 プリティーダービー」から、サンデーサイレンスのことと私を競馬にどっぷりはまらせた2つのレースのこと、そしてウマ娘世界の世界史の妄想などを書き連ねてみました。

今年不惑を迎えた私ですが、競馬との出会いは1995年から意外と長いです。その頃は「ダービースタリオン」や「ウイニングポスト」などの競馬ゲームが流行しており、私もそれらのゲームにはまりながら、競馬をいろいろな楽しんでいました。もっとも、賭けはしませんでしたが。また、親類にも競馬好きが多く、親戚の間でけっこう競馬の話題がある環境で育ったのも事実です。そんな競馬歴26年の私が、いろいろと書き連ねてみました。



# 目次

まえがき	4
現代焚書第1号 まえがき	5
現代焚書 まどかマガカ特集号 Madokaist まえがき	6
現代焚書第3号 まえがき	7
現代焚書第4号 まえがき	8
現代焚書第5号 まえがき	9
第一部 「コンテンツから見ると『人間』とは何か」	13
第一章 「かばんちゃん」と神の像	15
第二章 男と女とクローンと生命倫理と	22
第三章 電波男とみさき先輩	40
第二部 『現代焚書』第1号からの再録	57
第四章 暁美ほむらは救われるのか	59
第五章 私が『エルフ萌え』になった理由	82
第三部 まどかマガカ特集号『Madokaist』の再録	91
第六章 暁美ほむらは救われたのか	93
第七章 私的さやか論	103

第四部	『現代焚書』第2号からの再録	109
第八章	コミュニティとコミュニケーション	111
第九章	モヒカン族のすゝめ	128
第五部	『現代焚書』第4号からの再録	139
第一〇章	はたらく障がい者	141
第六部	『現代焚書』第5号からの再録	159
第十一章	ウマ娘世界線の人類史を考える	161
第十二章	サンデーサイレンスの遺伝子	167
第十三章	競馬ファン歴25年が過去をふりかえってみた	177
あとがき		180
現代焚書 第1号 あとがき		181
現代焚書 まどかマギカ特集号 Madokaist あとがき		182
現代焚書 第3号 あとがき		183
現代焚書 第4号 あとがき		184
現代焚書 第5号 あとがき		185
参考文献		186

## 第二部

『現代焚書』第1号からの再録



## 第四章 暁美ほむらは救われるのか

著者：ヨーシャ <iosha@huidyeren.info>

本章は、2015年8月に発行した『現代焚書第1号』に掲載されたものを再録し、加筆・修正を加えた『現代焚書まどかマギカ特集号 Madokaist』(2016年12月30日発行)の「暁美ほむらは救われるのか・伝統宗教と「魔法少女まどか☆マギカ」の「救済」の比較」をさらに改題・再録したものです。

### はじめに

2011年に放映された「魔法少女まどか☆マギカ」は、実に多くの人に影響を与えるアニメでした。このアニメは、主人公の鹿目まどかをはじめとする少女たちがキュゥべえという妖精のような存在によって、なにか一つの願いと引き換えに「魔法少女」となり、人類に危害を与える「魔女」という存在と戦う運命を強いられるアニメです。これは横山光輝に始まる「魔法少女」というよくある物語を利用したアニメのように見えたのですが、後に「魔法少女」は魂を抜き取られ、肉体は魂を移した「ソウルジェム」から操られる存在となり、ソウルジェムから肉体を100mほど離すと死体同然になってしまうという事実をつきつけられます。さらに、「魔女」は「魔法少女」が絶望して変化したものであることが判明し、魔法少女たちは絶望の淵へと落とされます。物語は、最終的にまどかが

全ての魔女を、生まれる前に消し去りたい。全ての宇宙、過去と未来の全ての魔女を、この手で。

「魔法少女まどか☆マギカ」 12話より

という願いをもってキュウベえと契約した結果、魔女を生み出されるシステムはなくなったものの、本来なら魔女化するはずのまどか自身が消え去り、結果的に彼女を救けようとした転校生である暁美ほむらにのみ記憶される「概念」のよくな存在になってしまいます。このアニメは、放映がちょうど東日本大震災と重なっていましたが、横山光輝作品である「魔法使いサリー」以降の「魔法少女」のお約束を覆したアニメであり、世紀の大災害以来、絆や世直しを求めるように変化した風潮と一致し、映画化やパチスロ化が行われるなど大ヒット作品となりました。まさに、希望と絶望をがクロージアップされたアニメです。

希望と絶望といえば重要な哲学的・宗教的テーマでもあります。キェルケゴールの「死に至る病」では、キリスト教の影響を強く受けた実存主義の思想において絶望が「死に至る病」であると定義されており、また、希望とは神を信じることであるとも考えられるわけです。ここで、私は「魔法少女まどか☆マギカ」を発端とし、各宗教における「救い」を比較し、ほむらが救われる余地があるのかを研究してみることになりました。

さて、私が「魔法少女まどか☆マギカ」において一番心に残るセリフは、主人公である鹿目まどかの、

希望を抱くのが間違いだなんて言われたら、私、そんなのは違うって、何度でもそう言い返せます。きっといつまでも言い張れます。

「魔法少女まどか☆マギカ」 12話より

というセリフだったりします。このセリフの中には、私の考える「救済」という言葉の根幹となる考えと共通するものがあります。

私の「救済」に対する考えは、以下の一文にまとめられると考えています。

「救済」とは、「存在」と「希望」の「他者」からの肯定である。

これは、聖書の以下の章句の影響を受けていると考えています。

夫れ信とは望む所を確信し、見ざる所を確證する者なり。

[1]

この章句は、口語的な新共同訳においては、以下のように訳されています。

信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです。

[2]

要するに、希望を確信し、見えないものを確認することが「信仰」であると言っているわけです。

ところで、映画化の作品目である『魔法少女まどか☆マギカ 叛逆の物語』において、ある意味「神に背く」存在となったほむらですが、彼女の救済に関しては様々な意見があります。

図四二 悪魔ほむら分類図





ちなみに、私は「まどかの願いを否定しているよ」派なわけですが。

その一方で、ネットにおいてはまどかが神にも等しい存在になったことから話を膨らませて「まどか教」なる擬似宗教が登場しました。この擬似宗教は、まどかから「私の、最高のともだち」とリボンを託されたほむらが教祖とされ、「叛逆の物語」公開の際に「教派」が分裂し、「ほむらが叛逆してもまどかがほむらを救ける」女神派と、「ほむらの叛逆を是とする」教祖派に分裂して今に至っています。

私は、鹿目まどかが「(神ではないものの)自らの犠牲と共に魔女を救う聖なる存在」になったことを物語では重視する立場をとります。しかし、「叛逆してもなおほむらは救われる機会がある」と考えています。

## 「まどか教」の誕生と教義

さて、いかにしてまどかは「神」となったのでしょうか。

ピクシブ百科事典の「まどか教」の記事(1)においては、以下のようにまとめられています。

最終回にて遂にキュゥべえと契約し、その時願った全時空を越えて魔法少女達を絶望から救うという願いによって、宇宙の法則をも変え、その引き換えに大いなる呪いを背負った御身体もろとも魔女を永遠に消し去ることで、現世を離れ魔法少女達を救済する「神」に等しき存在になった女神まどか様。

彼女を崇拜し、女神まどか様がいまの世界を創造なされたことを全世界に伝える事を目的にした宗教団体である。開祖は女神まどか様のご親友であり、まどか様から託された世界を守りまどか様の福音を伝える預言者であらせられる暁美ほむら様である。

[3]

また、ニコニコ大百科の「まどか教」の記事(2)には以下の通り書かれています。

……女神まどかの奇跡を信じるまどか教徒たちにとって「THE 世界遺産」の CM は異なる意味を持った。まどかがいかにして人類と魔法少女たちを守る女神となったかが明らかにされた本編、それと同時に示された“謎の白い液体”の存在：信心ある者たちは、これはただの偶然ではないことに気がついた。この CM は、この液体こそまどか教徒たちが愛すべき聖なる飲料であると、女神まどかから示された奇跡なのであると信仰したのである。すなわち、まどか教の教理にある“プルケはまどかの血、ケーキはまどかの肉なり”の一節はこの時より生じた。現代においても信者たちは、まどか教の祝祭日においてはプルケを飲み、ケーキを食して女神の加護と来たるべき復活の日に思いを馳せるのである。……

[4] (民明書房『まどか教のすべて』より)

と、このように、「謎の白い液体」とも絡めて論じられていたりします。

そのうえで、「叛逆の物語」における、ほむらの「叛逆」も、「教祖派」の立場として以下のように述べられています。

教祖ほむらは女神まどかが創造する前の宇宙を生きていた唯一の存在です。

教祖ほむらは女神まどかの声を聞くことができます。

教祖ほむらは女神まどかをその永久の孤独から救おうとし、その愛により女神まどかと同等の存在になりました。

そして新たな理を作り女神まどかを御救いになりました。故に我々は、この世界とまどか様を守らなければならぬのです。

[3]

この擬似宗教的要素が、「魔法少女まどか☆マギカ」を擬似宗教に押し上げるゆえんとなったのでしょう。

## 各宗教の「救済思想」を比較する

ここで、各宗教の「救済思想」を比較してみることになります。

比較対象としては、仏教のうち浄土真宗と日蓮宗、ユダヤ教、イスラーム、そしてキリスト教から正教、ローマ・カトリック、そしてプロテスタント諸教派の救済思想を取り上げたいと思います。

これら諸宗教の「救済思想」を比較し、暁美ほむらが救われる可能性があるか、ということを考えてみたいと思います。

### 浄土真宗の救済思想

浄土真宗は、阿弥陀如来を崇敬し、西方の極楽浄土へ往生を願う他力本願の考え方を持っています。他力本願というのは他の人の力を借りるようなネガティブなイメージがありますが、本来は本願、つまりあらゆる人が仏として救済されるには阿弥陀如来にすがるしかない、という考え方になります。浄土真宗で朝夕の勤行に使われる『正信偈』の以下の句では、我々人間が「邪な考え」や「傲慢さ」にとらわれている以上、本願の念仏を素直に喜び、いただき続けることはもつとも困難であると述べています。

[5] 弥陀仏の本願念仏は 邪見驕慢の悪衆生 信樂受持すること 甚だ以て難し 難中之難 斯に過ぎたるは無し

それ故に、念仏を唱えて阿弥陀如来に、極楽へ往生することのとりなしを頼み、極楽で仏になるという考え方をとりまします。なお、浄土真宗は他の宗派のような修行を全否定しているわけではありません。しかしながらその道は極めて困難なこととされており、それゆえ、念仏により救われる道を提唱しているわけです。

65 では、なぜ、阿弥陀如来にすがれば極楽に往生し、仏となることができるとされるのでしょうか。『仏説無量寿経』に

は、阿弥陀如来の四十八願のうち、第十八願と呼ばれる法蔵菩薩が阿弥陀如来となるための誓いにはこのように書いてあります。

設我得佛 十方衆生 至心信樂 欲生我國 乃至十念 若不生者 不取正覺 唯除五逆 誹謗正法

[6]

意識すると、以下ようになります。

わたしが仏になるとき、すべての人々が心から信じて、わたしの国<sup>(3)</sup>に生れたいと願い、わずか十回でも念仏して、もし生れることができないようなら、わたしは決してさとりを開きません。ただし、五逆の罪<sup>(4)</sup>を犯したり、仏の教えを誇るものだけは除かれます。

ここでもっとも重要なのは、五逆の罪をおかしたり仏の教えを誇るものは除くという条件はありますが、念仏して極楽浄土へ往生することを願うならすべての人が救われる、という論拠になります。

親鸞の教えは、この浄土教の教えを更に先鋭化させたものでした。自らは戒を守れない凡夫であるとし、悪人正機の教えをとききました。ここで注意すべき点は、「善人」と「悪人」の境界は法律や倫理、道徳で分かれるものではないということです。仏の目から見れば、我々は根源的な「悪人」であり、阿弥陀如来の真実に目覚めた時に、真実の善は一つもでない「悪人」であると気付かされるのです。このあたりは、キリスト教の共働説や、神人協力説とも似ています。自分の力で善をなすことは、「どんな悪人でさえも救済する」という阿弥陀如来の「本願」を疑うこととされます。ただし、「欲望のままに悪事を行ってよい」わけではありません。『歎異抄』第三章には次のように述べられています。

善人なほもて往生をとぐ、いはんや悪人をや。しかるを世の人つねにいはいはく、「悪人なほ往生す、いかにいはいはんや善人をや」。

この条、一旦そのいはれあるに似たれども、本願他力の意趣にそむけり。そのゆゑは、自力作善の人は、ひとへに他力をたのむころ欠けたるあひだ、弥陀の本願にあらず。しかれども、自力のころをひるがへして、他力をたのみたてまつれば、真実報土の往生をとぐるなり。煩惱具足のわれらは、いづれの行にても生死をはなることあるべからざるを、あはれみたまひて願をおこしたまふ本意、悪人成仏のためなれば、他力をたのみたてまつる悪人、もつとも往生の正因なり。よつて善人だにこそ往生すれ、まして悪人はと、仰せ候ひき。

[7]

このように、我々が弱い人間であるが故に、阿弥陀如来にすがらなければならぬというのが浄土真宗の教えの根本かと思われまふ。阿弥陀如来の願いには、「すべての魔女を生まれる前に消し去りたい。すべての宇宙、過去と未来の全ての魔女を、この手で」という鹿目まどかの願いに通じるところがあると思ひます。

### 日蓮宗の救済思想

日蓮に源流を發する仏教（日蓮宗など）においては、浄土真宗などの浄土教とはまるつきり異なる救済原理を持っています。その基本は、西方浄土で成仏を目指すのではなく、「現世における衆生の救済」を目指す論理になります。日蓮は法華經に帰依することによって、成仏できると説いています。『上野尼御前返事』において、日蓮は明確に述べています。

蓮華と申す花は果と花と同時なり。

……（中略）……

法華經と申すは手に取ればその手やがて仏に成り、口に唱ふればその口、即ち仏なり。

[8]

浄土教が説く西方浄土での成仏は、現世の本仏が久遠実成の釈迦如来であるとし、異世界である西方浄土の主である阿彌陀如来に往生を頼むのはお門違いであるとなりました。それ故、日蓮は「念仏無間、禪天魔、真言亡国、律国賊」と他宗を非難することになります。

その仕組みとして挙げられるのが「一念三千」と「一乗・二乗作仏」です。一念三千とは、この世すべてである「三千世界」が、一瞬の心の働き（一念）に備わっているということです。私たちが心を動かしただけで全世界に影響を及ぼす、ということになります。また、「一乗・二乗作仏」とは、自分の成仏とは他者の成仏であり、他者が成仏できなければ自分も成仏できないということです。他者が成仏できる論理を広げれば、三千世界すべてが成仏できる、ということになります。

では、「凡人」は法華仏教の思想においてはどのように救済されるのでしょうか。そういう論点においても、法華経を護持することによって、成仏できると説いています。先に述べたように他者の成仏が自分の成仏であるため、他者が法華経を奉じて成仏すれば自分も救われるという発想に繋がります。だからこそ、日蓮仏教の影響を受けた教派は布教に熱心な訳です。その発想は究極的には、「法華経を布教することで世界を救う」ということで現世における菩薩を目指す一方、「法華経を信じないものは悪である」という強烈な「世直し思考」を持つに至ります。法華仏教系の新興宗教においては、その「世直し思考」が強烈な形となって現れます。人によっては、これをおせっかいと捉えるかもしれませんが、強烈な世直し思考に関しては創価学会だけではありません。都条例とオリンピックでオタク界に二度の危機を与えた石原慎太郎元都知事（霊友会）もまた法華経信仰者でした。更に、昭和初期に活動が盛んとなった国柱会からは、宮沢賢治と石原莞爾という、強烈な個性をもつ世直し論者を輩出しています。石原莞爾がアジアの自立を目指して満州事変を起こしたのも、日蓮思想から来る強烈な世直し思考の影響が少なからずあったものかと思われれます。

## ユダヤ教の救済思想

ユダヤ教は、世間では「ユダヤ人」の民族宗教と誤解されているようですが、実際には「ユダヤ教徒」であることが「ユダヤ人」の条件であることについては忘れられているような気がします。ユダヤ教において救われる者は、「ユダヤ教

徒」になるわけですが、「ユダヤ教徒」には限られた人にしかねないというわけではなく、一応「地上のすべての民」が聖なるものに限りなく近づくことができるという建前にはなっています。ミツワー<sup>(5)</sup>には以下の様な一節があります。

あなたたちは寄留者（ゲール）を愛しなさい。あなたたちもエジプトの国で寄留者であった。  
出典は[2]による

しかし、信仰を持っているだけではユダヤ教徒と認められず、613項目のミツワーを守り、ミクラー<sup>(6)</sup>を読まず、安息日も守らない（7）人は神との契約を守っていないことになり、ユダヤ教徒ではない事になってしまうためです。当然のことながら、食べることにしてもコーシャー<sup>(8)</sup>を守らなければなりません。そのため、「ユダヤ教徒になる」には実際に認められるまでにもものすごく時間と手間がかかるため、現実的ではないのです。だからといって、「ユダヤ教徒になる」のは不可能ではない、ということは頭の片隅に入れておく必要があると思います。

#### 「神教における「性的逸脱」について

一神教で同性愛や近親相姦、動物との性行為が否定されるが典拠はレビ記18章にある。ただし、その中に自慰は含まれていない。そのため、ユダヤ教では自慰行為はしてはいけないことではない。

イスラームでも自慰は望ましくないこととはされるが、してはいけないことではない。

『カトリック教会のカテキズム』では、「大罪」の中の「貞潔」に関する罪として、「姦通、自慰、私通、ポルノ、売買春、強姦、同性愛」と明確に挙げられており、さらに未成年者になされる場合は「彼らの肉体的・精神的一体性を損なうきわめて重大な侵害」とされる。

カテキズムの本文は[9]による

## コーシャー規定

豚肉以外にもうろこのない海産物や「反芻する、蹄の分かれている動物」以外の動物は含まれていない。認定を受けたものは日本の一般的なスパーで手に入れることは難しいという問題がある。また、認定を受けていても肉類と乳製品を同時に食べてはいけないという規定もある。

## イスラームの思想

イスラームにおいては、救いは「地獄から救済されて楽園に入ること」と捉えられます。「救済」は神の御業であり、「地獄」における厳しく、永続する「懲罰」からの解放であり、信仰者として(9)善行を行った者が与れるとされています。やはり、イスラームでも地獄は永続するものであり、救いにあずかる者と地獄に堕ちるものは明確な区別があるとされています。

では、イスラームでは人間は「善行を行いうるもの」なのでしょうか。イスラームではあらゆる事象は神が予め定めたものとされますが、自由意志によって善悪を判断する能力が人間にはあると考えられています。しかしながら、救済の主体はあくまでも神にあります。アシュアリーというスンナ派の神学者は「人は行動することによって運命を獲得する」と述べています。イスラームではこの世のすべての事柄は起こる事柄であれ起こらない事柄であれ神が予め用意したものと考えられています。これは、六信五行に含まれている「カダル」(天命)という考え方です。神はいつでも世界を作り変えることができ、因果律を超越して瞬間瞬間に世界を存立させている一方、人間は、自由意志を以ってその世界を「獲得」していくので、人間側にも責任はある、とするのがアシュアリーの「カスブ」(獲得)理論の主張となります。アシュアリーの神学は現在のスンナ派神学の主流となっています。

なお、ムスリム以外の救いにおいては、アシュアリー派神学では以下の3パターンの人に救済があると考えられる場合があります。



- ・イスラームの宣教が届いていない者で考察によって自力で唯一神崇拜に辿り着いた者
  - ・イスラームの宣教が届かなかったために宗教に無関心に生きて死んだ者
  - ・イスラームの宣教が届かず積極的「無神論者」として確信的に神を拒絶して死んだ者
- イスラーム学者のハサン中田考氏は、

このアシユアリー派神学の救済論の伝統を継承し深化発展させることこそが、私見によれば将来のイスラームと他宗教の共存の神学的基礎となる。

[10]

と述べていますが、

理論的には宣教の届いていない異教徒が救済されると考えるアル||グンマリーが現実のユダヤ教徒やキリスト教徒に対しては、以下(10)のように述べ激しい敵意を抱いていたことから、アシユアリー派の救済論を現代に適用可能な宗教の共存の理論にまで昇華させることは決して容易ではなく、その成否は楽観視できないことは十分に心に明記しておく必要がある。

[10]

と付注していることから、イスラームと他宗教の共存には多くのさらなる議論を経ることが必要であると思います。

## アルルグンマーリーの敵意

アルルグンマーリーは、

ユダヤ教徒、あるいはキリスト教徒の両親の間に生まれた子供が不信仰者であることには異論がない。なぜならば彼らはクルアーンを聞き、ムスリムを知った上で、イスラームに激しい憎悪を抱いているからである。それはもし彼らの誰かがイスラームへの改宗か死かのどちらかを選べと言われたら、死ぬ方を選ぶほどである。多くのキリスト教徒が、クルアーンの修辞の妙を認め、その朗詠の美しさ、それが科学的真理を含んでいることに心を動かされることを告白しているが、にもかかわらず自分たちのキリスト教に固執するのである。固執と頑迷さによるこうした者の不信仰こそ、最も醜悪な不信仰なのである

[11]

と、述べています。

## 正教の救済思想

ここからはキリスト教各教派の比較をしていきたいと思います。

正教においては、救いとは「神に近づき、神の肖を獲得すること」となります。正教では、「人間は神の像と肖である」という考え方<sup>[12]</sup>をし、すべての人間は（壊れてはいるが）「神の像（イコン）」であると理解されますが、プロテスタントの一部、特にカルヴァン派に見られる全的墮落説のような、人間の本性はすべて墮落しているという考え方はとられません。

正教の姿勢でもっとも重要なのは、「神はこの世を創造するとき、全て【善きもの】として想像した」という点です。人間もすべて【善きもの】として創造されましたが、神は人間を「自由意志を持つもの」として創造し、アダムの墮落以

後も弱くなり、悪へ向かうようになった自由意志を人間から取り上げませんでした。結果として、人間は神の愛や恵みを受け取るか拒絶するかという選択をする自由意志は残っているわけです。では、人間がなぜ善行を行い得るのかという点に関しては、神の力を受け入れて共に行うことができるとされています。これを「共働」といいます。神学者グリゴリイ（ナジアンゾスのグレゴリオス）は「私たちの力の内にあるものと神の下さった救いが共に必要である」と述べています。地獄に関する考え方も他教派とは異なることがあります。正教ではローマ・カトリックに見られるような煉獄の考え方はありません。ただし、我々には自由意志があるので、地獄においても神に向かう自由意志が存在すると理解されま

す。地獄は、自分自身を省みない人や悪人・罪人の行くところとされていますが、信者や残された家族は「罪のとりなし」を頼み、善行を行っていく必要があると説かれています。

シリアのイサアクは、次のように述べています。

神の中に悪い行いに対する罰が見られる、と考えるのはお粗末である。もし神は罰するために、人間にはできない大きなことをしていると考ええると、我々は神の本性に弱さがあるとしていることになる。高潔で正直な人生を送り、いつも神と共にいるような人、そのような人の中に、罰の行爲を見ることはできない。ましてや神ならば、敬意と大きな愛をもって造った人間に対して、予知していた悪い行いを罰することはできない。神は人間とその全ての行動を知っていて、恵みが枯れてしまうことはない。人間が悪い行いをしている最中でも、神は一瞬たりとも彼らを思いやらないことはない。

[12]

また、次のようにも述べています。

地獄において罰を受ける人々は、愛の鞭によって打たれるのである。いや、愛の苦しみほどつらく、激しいものがあるであろうか。つまり、愛に対して罪を犯したと感じた者は、それによって、どんな罰の恐怖よりも大きな苦しみを受ける、ということである。というのは、愛に対して罪を犯すことによって心に生じる悲しみは、どんな苦し

よりも耐え難いものだからである。地獄にいる罪人たちは、神の愛を受けていないと考えるのは間違っている。愛は・・・全ての人に対して与えられている。しかし、愛の力は二つの仕方でも働く。愛は罪人を苦しめる。それはあたかも、友が友のことで苦しむようである。しかし、愛はその本分を守っている者にとっては喜びの源となる。

[12] さらに、次のようにも述べています。

恵みのご計画により、大部分の人は地獄を経験することなく天国に入るだろう。しかし、心が頑なであったり、悪や欲に完全に身を任せているため、自らの過ちと罪に苦しみ、悔い改めを示せなかった人は別である。これらの人々は全く訓練されていないからである。神の聖なる本性は善いものであって憐れみ深いものである。神はいつも我々を義に引き上げる手段を探している。神はどのように彼らの罪を許すのであろうか。それは、祈りの熱心さによって義に引き上げられた徴税人の場合（ルカ 18・9～14）のようであり、二枚の銅貨を持った女の場合（マルコ 12・41～44）のようであり、十字架上で許しを得た男の場合（ルカ 23・40～43）のようである。というのも神は私たちの救いを望んでおられ、私たちを罰することは考えていないからである。

[12]

また、地獄の永続性については、シリアのイサクは次のようにはっきりと否定しています。

罪は自由意志の結果もたらされたものである。罪が存在しない時があったし、やがて存在しない時が来るであろう。地獄は罪の結果もたらされたものである。時間の中の、ある時点において地獄は始まったが、その終わりは知られていない。しかし、死は創造者の知恵の摂理である。それは少しの間自然を支配するが、やがて完全に根絶される。サタンの名前は自ら真実を『避ける』ということに由来している。それは、彼が自然に存在している、ということではないことを示している。

ここまでのことを振り返ってみてみると、神は「すべての人間が救われるように」<sup>(12)</sup>と望んでおり、その先に、アポカタスタシス、つまり「被造物全体の救い」があるとされています。となると、墮天した天使であるところの悪魔もまた被造物なので、救われる余地はあるのでしょうか。

### 悪魔でさえも救われるのか

昔から議論の最中にある話題ですが、正教の中には悪魔を含めた被造物全体の救いを希望する、という思想もあります。その一方で、当然ながら悪魔は救われられないという考え方もあります。正教の師父であるニッサのグレゴリオス<sup>(13)</sup>という聖人がいます。彼について、正教の研究者でもあるカリストス府主教はこう書いています。

#### 断罪を免れた「全救済」論者

すべての者の救済へのオリゲネスの渴望は、彼の同時代からすでに疑惑の目で見られていました。それでも彼の霊的な子孫たちにはこの普遍的な希望を保ち続けた人たちがいます。その特筆すべき二人の例が四世紀の末に現れます。ポントスのエヴァグリオスと、聖大バシリオスの弟、ニッサの聖グレゴリオスです。エヴァグリオスは「靈魂の先在」、「世界創造に先立つ墮落」、そして最終的な「万物復興」についてのオリゲネスの全思想をかたくに支持したことにより、五五三年オリゲネスとともに断罪されます。一方、ニッサのグレゴリオスはオリゲネスの「靈魂の先在」と「世界創造に先立つ墮落」についての思弁を捨てたために、究極的な全救済への信仰を固く保持しましたが、五五三年にもその後の時代にも破門されることはありませんでした。これはその後の正教思想史に大変重要な意義を持つことです。ニッサのグレゴリオスはオリゲネス同様、ゆるぎない確信にあふれて全てが救われる希望を表現しました。彼の言葉は聖使徒パウエルの大膽な宣布「そして、神がすべての者において、すべてとなる」(コリン前15・28)を思い起こさせます。グレゴリオスは述べています。「これらの長く曲がりくねった道を経て、今は私たちの本性に混ざり合い、合わさっている邪悪さが最終的にそこから追い出された時、また今は悪の中に沈んでいるすべ

てのものがその最初の姿に回復されるとき、全被造物の内から声を合わせた感謝の歌がわき上がるであろう…。このすべてが神の藉身の神秘に含まれているのだ」。この最終的な回復には、グレゴリオスははっきりと述べていますが、悪魔も含まれます。

この大胆な主張にもかかわらず、ニッサのグレゴリオスは決して異端者として断罪されず、反対に聖人として栄誉を受けました。どうしてそうなるのでしょうか。おそらく、聖大バシレイオスの弟であることで、非難を免れたのでしょう。しかしこうも言えるでしょう。彼が師オリゲネスとは異なった扱いを受けたのは、たぶん師とともに悪に対する善の最終的な勝利への希望を持ち続ける一方で、靈魂の先在説を捨てたことによって、オリゲネス主義者の循環論を回避し得たからだ、と。いずれにせよ、グレゴリオスが異端宣告されなかった事実は実に意義深いことです。このことは、創造に先立つ墮落説を離れば、厳密な正統教義の内側でさえ、慎重に言葉を選べば「全救済」への希望は受け入れられることを示唆しています。

[13]

と、ニッサのグレゴリオスの思想をまとめられています。

実際のところ、地獄はいつ終わるのか、誰が救われるのかについては神のみぞ知るところで、聖書に書かれていない事柄故に明言することはできないのです。それでもなお、神を信じ悔悟をするという条件のもとに救われるという希望は重要かと思えます。

### ローマ・カトリックの救済思想

ローマ・カトリックは、1054年の大シスマ以後、正教とは別の流れを受け継いでおり、そのため、神学や教理なども異なる部分があります。

ローマ・カトリックにおいては、救済は「神と人が親子のように永遠の愛で結ばれ、人と人が兄弟のように愛し合う状

態」と理解<sup>[14]</sup>されています。神はすべての人の救済を望んでいると考えるのはローマ・カトリックでも同様とされません。人間は善を行いうるのかという観点についても、ローマ・カトリックは神人協力説を説いています。これは、正教の共働説とよく似ていますが、歴史的には関連性はありません。

考え方においては、「大罪」というものがあることが正教との違いとされます。大罪については、「十戒」に記載された「重大なことがら」を「はっきり意識して」「意図的に」行った場合と考えられています。(5)罪の赦しを請う「ゆるしの秘跡」には、「償い」の意味合いがあり、「ゆるしの秘跡」において「償い」の指示がある場合があります。

また、原罪の考え方も異なっています。西方教会では一般的に原罪を「アダムから遺伝された罪」とし、両親の性交を遺伝の機会として考えてきました。聖母マリアについては、無原罪の御宿りという考え方があります。聖母マリア崇敬は正教でも行われており、聖母マリアが神と人との間の執り成しをするという構図は正教もローマ・カトリックもほぼ同じです。しかし大きく違うのは聖母マリアに原罪を認めるか否かです。正教では生神女マリアは他の人同様原罪を受け継いで生まれ、処女懐胎の奇跡を以って原罪が赦されたと解釈します。もし聖母マリアの無原罪の御宿りを認めてしまうと、生神女マリアが特別扱いになり、旧約の義人の聖性を損ねてしまうことになるわけです。ローマ・カトリックでは、聖母マリアはイエスを産むという特別な使命のため、無原罪で生まれてきたと考えられています。

最後に、ローマ・カトリックに見られる「煉獄」についてです。ローマ・カトリックでは、救いが約束された人は地獄ではなくきよめのために煉獄へ行き、その後天国に入ると考えられます。煉獄の状態にあるものには、信者が煉獄の霊魂が救われるよう祈ること、および信者が死者のための施しや償い、償いを行うことによって救われると「カトリック教会のカテキズム」に説かれて<sup>(6)</sup>います。地獄は「自らの自由な選択によって大罪のうちに死ぬ人々の永遠の責め苦」とされて<sup>(16)</sup>います。神の愛は大きく、すべての救いを望んでいながら地獄へ行く人がいるということについては、「自由意志による、神との別離を選択した結果」とされています。なお、煉獄の人のために行う「償い」のなかに、マルティン・ルターが反対した「免罪符」があります。また、煉獄の典拠の一つに第二マカバイ記12:45-46の以下の記述があります。

実に死んだ人達の蘇りを希望していなかったら、死者の為に祈ることは無益な、空しいことであつたらう。彼は敬虔に眠りに入った人達に、素晴らしい報いが準備されていると考えていた。これは聖い信心深い考えである。その為

に、彼は死者の為の償いの生贄を捧げ、罪から解き放とうとした。  
(17)

このマカバイ記は、旧約聖書についてはユダヤ教で用いられているものを聖典とするプロテスタントでは正伝と認められていません。

この、煉獄についての考え方がローマ・カトリックの重要な点であると思います。

### プロテスタントの救済思想

最後にプロテスタントについて見てみることにします。とはいっても、プロテスタント諸教派の分類は大きく分けてルーテル派、カルヴァン主義、聖公会、ウエスレー・アルミニウス主義の4つの流れがあります。さらに、第二次世界大戦後は自由主義神学を支持し、エキュメニカル運動を行うグループもいれば福音派のような聖書の誤りなき正しさを強調する人たちもいます。この教派の分裂を詳しく述べられないのが残念ではあります。

まず、多くの教派が共有する考え方に、「全的墮落」というものがあります。これは、人間はエデンの園のアダムの墮罪時に、すべからず墮落し、善を行う自由意志はなくなってしまうという考え方<sup>(18)</sup>です。ルーテル派やカルヴァン主義では、神の恵みを受けた者が新生してクリスチャンになり、善を行う自由を獲得する、とされています。ウエスレー・アルミニウス主義においては、確かに人は全的に墮落したものの、「先行的恩寵」により、キリストの十字架上の死を通じて神の恵みはすべての人に与えられており、取り戻された自由意志によって、神に向かうことができると考えられます。

そして、次に有名な教説がカルヴァン主義の「予定論」です。この教説に関しては、神戸改革派神学校前校長の牧田吉和牧師は

『信じてキリストを受け入れているという事実』から出発して、すなわち自分自身のあるいは神の民の救いの事実か



ら出発して、その究極的根拠としての永遠の選びの認識に至るといふ信仰の〈頌榮的告白〉です。

[15] 105ページより

と述べています。

この予定論を採る教派はプロテスタントの全てではありません。また、カルヴァン主義教会の内部でも、

予定というこの高度に神秘的教理は、み言葉に啓示された神のみ旨に注意して聞き、それに服従をささげる人々が、彼らの有効召命の確かさから自分の永遠の選びを確信するよう、特別な配慮と注意をもって扱われなければならぬ。そうすればこの教理は、神への讚美と崇敬と称賛の、また謙そんと熱心と豊かな慰めの材料を、すべてまじめに福音に従う者たちに提供してくれるであろう。

[16]

と、ウェストミンスター信仰告白で定義しています。

さらには、日本基督教改革派教会の創立50周年記念宣言では、

わたしたちは、軽率に特定の誰をも永遠の滅びの定めの中に数えません。すべての人に幸せを願い、十字架において表された神の愛に目を注いで、救いの門から努めて入るようすべての人に勧めます。

[17]

と述べています。

なお、カルヴァン主義には「聖徒の堅忍」といふ考え方があります。一度救いが約束された者は墮落することなく信仰を保ち続け、結果的に救われるという考え方です。カルヴァン主義においては、何の功績もない自分が神に神の愛もて選ばれている、という考え方が重要になっています。

次に、ウエスレー・アルミニウス主義を考えてみます。彼らは全的墮落の教義を継承しましたが、「先行的恩寵」と呼ばれる、すべての人々に恩寵が与えられ、結果として神に協力するか否かの意思があたりられているという考え方をとっています。その一方で信仰しない人は救われないという考え方をとり、救われたものが墮落し、滅びることがあるとされています。アルミニウス派の神学は「普遍救済主義」とも呼ばれています。

### どうしたらほむらは救われるのか

私は、ほむらは「神」の愛を自らの「自由意志」で拒絶した状態だと考えています。その一方で、救いには痛悔（悔い改め）の情が不可欠であると思います。それは、「悪魔」と自称し、神を拒んだほむらさえも救いに導くものであると思います。

それを考えると、私はおそらくどんな重い罪でも悔い改めることが救いへとつながる、と考えているようです。私は、名前からわかるように正教の信徒ではありません。地獄においても悔い改めれば救いがあるかもしれないという考え方は、私の希望となっています。でも、悔い改めなければ救いへはたどり着かないとも思っています。また、神はすべての人々の救いを望んでおられるということも救いになっています。

私は、ほむらが「神」の愛にたちかえって、悔い改めることがハッピーエンドであると思っています。

誤解を避けるために申し上げておくと、個人の宗教観や、信仰を明らかにすることはこの本を手にとってくださった方に強いるものではありません。あくまでも、「私の生活」の中の一部である宗教という一面から、「魔法少女まどか☆マギカ」と重なる部分を感じ、このような形でまとめてみたかったです。

- (1) [https://dic.pixiv.net/a/%E3%81%BE%E3%81%A9%E3%81%8B%E6%95%99#2\\_0](https://dic.pixiv.net/a/%E3%81%BE%E3%81%A9%E3%81%8B%E6%95%99#2_0)より。
- (2) <https://dic.nicovideo.jp/a/%E3%81%BE%E3%81%A9%E3%81%8B%E6%95%99>より。
- (3) 極楽浄土のこと。
- (4) 五種の最も重い罪。一般には、父を殺すこと、母を殺すこと、阿羅漢を殺すこと、僧の和合を破ること、仏身を傷つけることをいう。
- (5) ユダヤ教の戒律のこと。
- (6) ヘブライ語聖書のこと。キリスト教においては旧約聖書に当たる。

- (7) 機械の操作も火を扱うこともしてはならないとされる。そのため、エレベーターのボタンを押すことも、喫煙することも、電話をかけることもしてはならないとされる。ただし、非ユダヤ教徒を使うのは問題ないとのこと。
- (8) ユダヤ教における食の規定。
- (9) 信仰者であるためには、当然のことながら六信五行を守る必要があると思われる。また、スンナやハディースなどにも従う必要があると思われる。
- (10) コラム「アル・グンマリーの敵意」参照。
- (11) ローマ・カトリックやプロテスタント諸教派などの西方教会では「神にかたどり、神に似せて作られた」と考えられる。
- (12) テイモフェイ前書(テモテへの手紙一)による。
- (13) 日本正教会では「ニッサの主教聖グリゴリイ」と呼ばれる。教会の東西分裂前の聖人であり、ローマ・カトリックなどの西方教会でも聖人として扱われる。
- (14) 『カトリック教会のカテキズム』[9]では、「大罪」の中の「貞潔」に関する罪として、「姦通、自慰、私慰、ポルノ、売買春、強姦、同性愛」と明確に挙げられており、さらに未成年者になされる場合は「彼らの肉体的・精神的一体性を損なうきわめて重大な侵害」とされる。
- (15) [9] 124 ページより
- (16) [9] 125 ページより
- (17) 訳文はフェデリコ・バルバロの訳による。
- (18) 一応「一般恩寵」があるため、ノンクリスチャンや異教徒も救いに至らない善を行うことはできるとされる。

## 現代焚書第1号あとがき

この度は、『現代焚書第1号』をお読み下さりありがとうございます。

本を書き上げるのに、結構ギリギリになってしまいました。しかも、かなりのドタバタ進行になってしまったと反省しております。

第一のテーマである「宗教の救いの比較」については、かなりの参考資料を読みましたが、文献リストを用意できなかったのと、図を用意できなかったのが痛恨の極みであると思います。また、ローマ・カトリックやプロテスタント諸教派など、記述が全体的に不十分であったような気がします。書けたら、補足版を冬に出せたらと思います。

第二のテーマである、「私がエルフ萌えになった理由」は、最後のほうでかなり政治的ネタを出してしまったのが少しまじったとも思っています。なお、「エンドブレイカー!」は9月中に運営を終了することですが、現代社会を部隊にしたロー・ファンタジーである「ケルベロスブレイド」に、本文で紹介するエルフの少女をイメージした子を登場させる可能性は無きにしもあらずです。この、「ケルベロスブレイド」はコミケ3日目から運営を開始する予定とのこと。

また、この本を書くにあたって経験した様々な技術的トラブル等については、コミケ3日目に参加する「小江戸らぐ」さんの新刊『LinuxUser 2015夏号』で述べる予定です。この本はSphinxというソフトウェアを使用して編集しました。また、製版にはTeXLive 2014を用いています。それゆえ、章番号が抜けなかったりと色々な「仕様」が残っています。もし、冬に参加できるのであれば、今度はRe:VIEWという、より出版に適したツールを使用したいと考えています。

これからも、よろしくお願いいたします。

## 現代焚書 まどかマギカ特集号 Madokaist あとがき

著者：ヨージヤ <iosha@huideyeren.info>

この度は、『現代焚書 魔法少女まどかマギカ特集号 Madokaist』を最後までお読み頂きありがとうございます。

今回は、余裕を持って書き上げたつもりなのですが、途中の回のブランクが空いて、この度(9)で発刊できたことに喜びを感じています。また、「魔法少女まどかマギカ」放映1周年を迎え、自分なりの答えを出しておきたいという思いもありました。

さて、今回前号があるのに再録という形で第一章を取り上げた理由は、「魔法少女まどかマギカ」で論を深めるに当たって、もう一度取り上げてみたいと思ったからです。それとともに、少々加筆修正をしておきたいと思ったのもあります。

その続きとして、自由意志の問題を取り上げて書くのが第1章でした。私は、人間の自由意志というものを深く考えてみたいと思いました。そこから、ほむらは救われるという意思があるのか、という考えをしてみたいと思ったからです。

最後に、さやかを論じたのは、シンパシーを強く感じるのがさやかだったからです。だからこそ、書けるだけ書いてみたいという思いがあり、今回の記事に加えることにしました。

最後に、この本は、「Re:VIEW」という、文章作成ソフトを使用して作成しました。また、作業に集中できるような様々な自由化を行っています。また、表紙のフォントですが、うみほたるさんの魔女文字・テキストウーラ体を使用しました。

なお、次は評論ジャンルに戻ろうと考えています。次にお目にかかれる際は、また新しい論点をお届けできれば幸いです。今後とも、よろしくお願いたします。

## 現代焚書第3号あとがき

著者：ヨージヤ <iosha@huidereen.info>

この度はここまでお読みいただきありがとうございます。しかも、ここまで難しいテーマを私なりにかみ砕いてうまく表現しきったと思っています。

さて、世の中では「Me Too」とともに男性の女性へのセクハラが訴えられるようになって、これまで苦しめられてきた女性の苦しみが軽減されるようになって喜ばしいことです。しかしながら、一方では香山リカ氏と北原みのり氏による『フェミニストとオタクはなぜ相性が悪いのか』という本も刊行され、フェミニストとオタクの対立構造がSNSなどで話題になっているような気がします。

次号のテーマですが、評論ジャンルを休んで技術書を書こうか迷っています。私は本業がITエンジニアなのですが、なかなか欲しい本がありません。欲しい本といっても、自分で読むだけでは無く、同僚などに読んでほしい本もあります。欲しい本が無ければ、自分で書けば良い、そう思っているところもあります。

その一方で、人工知能に関することやフランクフルト博士の人間に対する希望、ファンタジー世界における種族共存の理想と現実など今回書けなかったことは一杯あります。それらを書いていきたい気もします。それだけでは無く、自分史やファミリーヒストリーなども書きたいところです。考えると、書く内容、書ける内容は非常に多いのです。

まだ、冬は何書くか決まっていますませんが、もし、機会がありましたらよろしくお願いいたします。

## 現代焚書第4号あとがき

著者：ヨージヤ <iosha@huidyeren.info>

この度は、現代焚書第4号を最後までお読みいただきありがとうございます。

今回の一冊は、正直言うところと余裕がない中での執筆でした。私はADHD的要素を抱えているため、いろいろなものと同時並行的に取り組むところがあります。個人的事情ですが、カンファレンスでの発表に10月の名物であるアドベントカレンダーの執筆、さらには日々の業務という忙しい状態の中でこの原稿を書き上げました。我ながら、よく乗り切ったと思います。

なお、次回も「人間の尊厳」に関わるのですが、様々な創作で書かれている人間とロボットの関係を考えつつあくまでもAIや人工知能、シンギュラリティと「人間の尊厳」を考えてみたいと思っています。

機会がありましたら、次回もお手にとっていただければ幸いです。

最後に、皆様にとって、元号が変わる2019年を幸多い年にされますことを祈っております。

## 現代焚書第5号あとがき

著者：ヨージヤ <iosha@huidyeren.info>

この度はここまでお読みいただきありがとうございます。

思えば今年の競馬は白毛のソダシが話題になりましたが、先日そのソダシがチャンピオンズカップでダートに挑戦するということで私は痛い目に遭いました。今年の競馬人気を支えたのはウマ娘でもあったと改めて実感する次第です。

なお、今回の本来のテーマは「ウマ娘 プリティーダービー」と「輪るピングドラム」の予定でしたが、あまりのテーマの重さに「輪るピングドラム」については書けませんでした。しかし、いつか書けたらとは思っています。

また、私の本を手にとってお読みいただける日を楽しみにしております。



## 参考文献

### 参考文献

- [1] 聖ニコライ・中井木菟麻呂訳『正教会訳聖書』
- [2] 共同訳聖書実行委員会訳『新共同訳聖書』
- [3] ピクシブ百科事典の「まどか教」の記事。  
[https://dic.pixiv.net/a/%E3%81%BE%E3%81%A9%E3%81%8B%E6%95%99#h2\\_0](https://dic.pixiv.net/a/%E3%81%BE%E3%81%A9%E3%81%8B%E6%95%99#h2_0)
- [4] ニコニコ大百科の「まどか教」の記事。  
<https://dic.nicovideo.jp/a/%E3%81%BE%E3%81%A9%E3%81%8B%E6%95%99>
- [5] 親鸞『教行信証』より「正信念仏偈」
- [6] 『仏説無量寿経』
- [7] 『歎異抄』
- [8] 『上野尼御前御返事』
- [9] カトリック中央協議会『カトリック教会のカテキズム要約（コンペンディウム）』
- [10] 中田考「救済の境界―イスラームにおける異教徒の救済―」、同志社大学『一神教学際研究 2』63―77、2006年
- [11] Abd Allah bn Muhammad bn al-Siddiq al-Idrisi, \* Ahl al-Fatrah Najun\*, Khawatir Diniyah, Cairo, 1968（本文訳は

- [10] による。)
- [12] エフレム後藤悠太「神様の愛とはーシリアの聖イサク(イサク)の著作を読んでー」(本文は <http://www.eonet.ne.jp/~ocj-kobe/Isaac.pdf> に於て。)
- [13] カリストス・ウェア：著、松島雄一：訳『すべての者の救い』に望みをかけるべきか——オリゲネス、ニッサの聖グレゴリオス、シリアの聖イサクはどう考えたか』(本文は <http://www.orthodox-jp.com/nagoya/universalsalv.html> による。)
- [14] 晴佐久昌英『宗教の普遍性』(上) Ⅱすべての人は救われる、分け隔てなく愛す」東京新聞 2014年3月15日付
- [15] 牧田吉和『改革派神学入門 改革派信仰とは何か』聖恵授産所出版部、1999年
- [16] 『ウェストミンスター信仰基準』第3章第8節(本文は <http://www.ogaki-ch.com/WCF/text/> に於て)
- [17] 日本基督改革派教会創立50周年記念宣言『予定についての信仰の宣言』(本文は <http://www.ogaki-ch.com/declaration/50th.htm> に於て)
- [18] 祈祷文「天の王」(原文は日本ハリストス正教会教団西日本主教教区教務部『家庭祈禱集』による)
- [19] 高橋保行『神と悪魔ギリシャ正教の人間観』角川書店、1994年
- [20] 蒼樹うめ『RKGKMDK』apricot+、2011年
- [21] Magica Quartet 原作、まんがタイムきらら編『魔法少女まどか☆マギカ公式ガイドブック』芳文社、2011年
- [22] ヴィクトール・E・フランクル著、池田香代子訳『夜と霧 新版』みすず書房、2002年
- [23] 平野耕太『ドリフターズ』第1巻、少年画報社、2010年
- [24] 東浩紀『動物化するポストモダン オタクから見た現代社会』講談社、2001年
- [25] 朝日新聞デジタル「平昌五輪の謎彫刻、狙いは何か モルゲッソヨの作者語る」2018年2月26日19時30分発表  
<https://www.asahi.com/articles/ASL2V5HSKL2VUEHF0OD.html>  
(記者：藤田太郎氏)
- [26] 『法華経』

- [27] 日本カトリック司教協議会常任司教委員会『クローン人間の研究に関する日本のカトリック教会の見解』1997年5月3日  
<https://www.cbccj.catholic.jp/1997/05/03/5109/>
- [28] 浄土宗「クローン人間誕生に対する浄土宗の声明」平成14年12月31日  
 原文は <https://archive.fo/kJLGN#selection-423.0-423.184> にアーカイブされたものによる
- [29] 天台宗宗議会「クローン人間創出にかかわる反対決議文」平成14年3月8日  
<https://www.tendai.or.jp/shuchou/04.php>
- [30] ラシード・アッディーン・著、堀さとこ・訳『モンゴル史』部族編第二章 日本語訳、2013年、群雄堂書店
- [31] Howard Wright「ザラ・アガ・カーン王女、生産者に忍耐を呼び掛ける」  
 翻訳は公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナルの下記記事による。  
[https://www.jairs.jp/contents/w\\_news/2016/2/3.html](https://www.jairs.jp/contents/w_news/2016/2/3.html)
- [32] 村上正二・訳『モンゴル秘史 チンギス・カン物語』3巻 平凡社、1976年
- [33] 太田博樹『遺伝人類学入門・チンギス・ハンのDNAは何を語るか』筑摩書房、2018年
- [34] Rootport「児童虐待はヒトの本能なのか？」2018年6月17日発表  
<http://rootport.hateblo.jp/entry/2018/06/17/215021>
- [35] 聖ニコライ・中井木菟麻呂訳『三歌斎経』
- [36] 福岡伸一『できそこないの男たち』光文社、2008年
- [37] 本田透『電波男』三才ブックス、2005年
- [38] 本田透『萌える男』筑摩書房、2005年
- [39] 歐陽宇亮「香港ガリ勉眼鏡っ娘ゲーム第11回!“葉鍵”女子が「俺」になるとき」2017年4月10日発表  
<http://jp.ign.com/hkgirlgamer/12612/feature/11>
- [40] 杉田俊介『非モテの品格』集英社、2016年

- [41] 熊代亨『ロスジェネ心理学 生きづらいこの時代をひも解く』花伝社、2012年
- [42] 祈禱文「天主経」（聖ニコライ・中井木菟麻呂訳の原文による）
- [43] Statement by NSC Spokesperson Ned Price on the Knife Attack in Japan  
<https://bit.ly/3fh121Y> ※短縮 URL
- [44] 厚生労働省のドキュメント『特例子会社』制度の概要』  
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/shougai/sha/d1/07.pdf>  
 windupbird 氏のブログ「草食系院生ブログ」  
<https://dameinsei.hatenadiary.jp/>
- [45] 立岩真也、杉田俊介・著『相模原障害者殺傷事件 優生思想とヘイトクライム』東京・青土社、2017年
- [46] 藤井克徳・著『わたしで最後にしてナチスの障害者虐殺と優生思想』東京・合同出版、2018年
- [47] K.H.マルクス、D.エンゲルス・著 広松渉・編訳 小林昌人・補訳『新編輯版 ドイツ・イデオロギー』東京・岩波書店、出版年月 2002年
- [48] K.H.マルクス、E.エンゲルス・著 大内兵衛ほか・訳『マルクス・エンゲルス選集Ⅰ 経済学批判』東京・新潮社、1972年
- [49] マックス・ヴェーバー・著 大塚久雄・訳『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』東京・岩波書店、1989年
- [50] J.M.ケインズ・著 山岡洋一・訳『ケインズ説得論集』東京・日本経済新聞出版社、2010年
- [51] 環境省「みんなで学び、みんなで守る生物多様性」  
<https://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/about.html>
- [52] Jeffrey A. Fawcett, Fumio Sato, Takahiro Sakamoto, Watal M. Iwasaki, Teruaki Tozaki, Hideki Iman "Genome-wide SNP analysis of Japanese Thoroughbred racehorses" (PLOS ONE 14: e0218407, 2019)  
<https://journals.plos.org/plosone/article?id=10.1371/journal.pone.0218407>
- [53] よしだみほ『競馬連戦連笑7 すべての馬に乗れ』  
 東京・ワニブックス 1996年

- [55] よしだみほ 『競馬連戦連笑5 馬ほどステキな役者はいない』  
東京・ワニブックス 1995年
- [56] よしだみほ 『私設現代名馬館』  
東京・ぶんか社 1996年
- [57] レイ・ボーリック著、大関夏子訳 『運命に噛みついた馬 サンデーサイレンス物語』  
東京・産経新聞ニュースサービス 2002年
- [58] 札幌市清田区のホームページ「きよたの歴史▽略年譜」  
<https://www.city.sapporo.jp/kiyota/outline/history/index2.html>

# 索引

## ■ 記号・数字 ■

「E環の理」 ..... 94

## ■ A ■

A B O血液型 ..... 29

Air ..... 41

## ■ C ■

CLANNAD ..... 41

## ■ F ■

Fate/Grand Order ..... 21

## ■ K ■

Kanon ..... 41

## ■ L ■

Leaf ..... 41, 42

Leaf・Key揭示板 ..... 42

## ■ O ■

ONE ～輝く季節～ ..... 40

## ■ P ■

PINKちゃんねる ..... 42

pixiv ..... 104

## ■ R ■

Rootport ..... 36

- UNIX板……………42
- URAファイナルズ……………178
- C ■
- アールサー・B・ハンコック三世……………172
- アウシュヴィッツ・ビルケナウ強制収容所……………145, 147
- アエロリット……………178
- 蒼樹うめ……………41, 105
- アガ・カーン三世殿下……………30
- アガ・カーン殿下……………169
- アガ・カーン四世殿下……………30
- 赤の女王仮説……………28
- 悪人正機……………66
- 悪魔……………75, 80, 94
- 暁美ほむら……………93
- 朝日杯3歳ステークス……………167
- アシュアリー……………70
- アステカ帝国……………165
- アスペルガー症候群……………112, 115
- 東浩紀……………20
- アダム……………72, 78
- アダルトゲーム……………40
- アダルトマン将軍……………52
- 痕……………42
- アブラハムの宗教……………98
- アポカタスタシス……………75
- 阿弥陀如来……………65, 66, 67
- あ ■
- アメリカ精神医学会……………112
- アメリカ大陸……………165
- アメリカ同時多発テロ……………51
- 綾波レイ……………22, 39
- アリマキ……………34
- アルティメットまごか……………95, 98
- 杏さや……………104
- 5 ■
- イージーゴア……………172
- 池添謙一……………171
- イコン……………19, 72
- イスタンブール……………164
- イスラーム……………65, 70, 94, 164, 165
- 痛悔……………80
- 一念三千……………68
- 一妻多夫制……………162
- 一夫一妻制……………34, 35
- 一夫多妻制……………34
- 遺伝子プール……………28
- インカ帝国……………165
- 因果律……………93
- イングリディール……………178
- インスタンス……………19
- インド……………165

- ウイグル……………163  
 ウェストミンスター信仰告白……………79  
 ウェスレー・アルミニウス主義……………78, 80  
 上野尼御前御返事……………67  
 ウオツカ……………175  
 虚淵玄……………41, 105
- う ■
- エアグルーヴ……………177  
 エキメニカル運動……………78  
 エフタル……………162  
 エルコンドルパサー……………177  
 エルフ……………108  
 円環の理……………94, 100, 104
- え ■
- 大きな物語の終焉……………20  
 オークス……………167  
 オーストラリア……………163  
 大塚英志……………20  
 おぎの稔……………38  
 オグリキャップ……………172  
 オゴデイ……………31  
 オシファイエンチム……………145  
 織田信長……………108  
 オブジェクト指向……………19
- お ■
- 親学……………112  
 オルフエーヴル……………167, 171
- か ■
- カール・マルクス……………149  
 外戚……………163  
 学習障害……………112, 115  
 カコ博士……………20  
 一乗・二乗作仏……………68  
 カスブ……………70  
 カダル……………70  
 活版印刷……………161, 163  
 カトリック……………99  
 カトリック教会のカテキズム……………69  
 鹿目まどか……………59, 93  
 金子真人……………171  
 かばんちゃん……………15, 16, 19  
 家父長制……………162  
 上条恭介……………103  
 神の像と肖……………18, 19, 72  
 火薬……………161, 163  
 カリストス府主教……………75  
 カルヴァン……………150  
 カルヴァン主義……………78, 79  
 カルヴァン派……………72, 94  
 漢……………161  
 宦官……………163  
 艦隊これくしょん……………20



## ■ き ■

Key	41
キェルケゴール	60
擬人化	20
喜多村英梨	106
契丹	163
金知鉉	50
救済	70, 93, 95, 97
救済思想	65
キュウベエ	59, 93, 100, 101
強制収容所	145
匈奴	162
キリスト教	65, 94, 164
キンイロリョテイ	170, 177
近親相姦	69

## ■ く ■

久遠実成	68
熊代亨	45, 54
クラス	19
グランブルーファンタジー	21
グレイプくん	16
クローズアップ現代プラス	157
クローン	22

## ■ け ■

ゲーテ	95
結婚	34
けものフレンズ	21
ゲルマン民族	163, 164
ゲルマン民族大移動	161, 164
原罪	77
減数分裂	27
現生人類	18
ケンタッキーダービー	172
元朝秘史	32

## ■ こ ■

小泉しゅうすけ	38
後漢	163
広汎性発達障害	112, 117
ゴルドシップ	171, 177
五逆	66
国際刑事裁判所	146
五胡十六国	163
コミュニケーション	113
ゴリラ	34
コンキスタドール	165
コンスタンティノープル	96, 164

■ さ ■		
サーバル	15	
サーバルキャット	15	
ザーラ殿下	30	
相模原障がい者施設連続殺傷事件	141	
佐倉杏子	104	
座敷牢	152	
皐月賞	167	
佐藤留美	44	
ザラ・アガ・カーン王女	169	
サリカ法典	33	
ザルカヴァ	30	
産業革命	161	
三国志・戦国板	42	
サン人	34	
サンデーサイレンス	29, 167, 172, 177, 178	
サンドスター	16, 19	
三倍体	27	
■ し ■		
自己犠牲	101, 102	
地獄	70, 73, 76	
自殺	102	
至聖三者	99, 102	
十戒	77	
実存主義	60	
死に至る病	60	
自閉症	112, 115	
自閉症スペクトラム	112, 114, 115	
社会的障壁	112	
ジャガイモ	23	
じゃぱりまん	16	
ジャンヌ・ダルク	101	
ジャン＝フランソワ・リオタール	20	
周	162	
銃	165, 166	
自由意志	19, 72, 73, 77, 78, 80, 93, 94, 100, 101	
自由主義神学	78	
就職氷河期	43	
十二大祭	96	
儒教	162, 163	
シヨアー	145	
障害者基本法	153	
障害者権利条約	146, 153	
障がい者雇用	155	
障害者雇用促進法	153	
障害者差別解消法	153	
障害者の権利宣言	152	
障害の「社会モデル」	153	
障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律	146	
正信偈	65	
生神女庇護祭	96	
生神女マリア	77	
浄土宗	25	
浄土真宗	65	
処女懐胎	77	
女真	163	

ジヨチ	31
ジョン・メイナード・スミス	27
ジョン・メイナード・ケインズ	149
シリアのイサク	73, 74
神学者グリゴリイ	73
神人協力説	66, 77
新世紀エヴァンゲリオン	22
人道に対する罪	146
尋麻疹	178
神武天皇	33
親鸞	66
人類	18

■ す ■

隋	163
スキタイ	162
杉田俊介	49
ステイゴールド	170, 177
スペシャルウィーク	29
スラブ民族の大移動	164
スラヴ民族大移動	164
スンナ派	70

■ せ ■

正教	65, 72, 73, 77, 98, 99
正教会	18, 164
性交	77
聖公会	78
聖書	18, 20, 76
性の二倍のコスト	27, 34
生物多様性	168
西方教会	19, 77
聖母崇敬	96
聖母マリア	77, 95
閔隴貴族	163
先行的恩寵	78, 80
全的墮落	19, 78, 80
全的墮落説	72
セントサイモン	28, 167
ゼンノロブロイ	178
鮮卑	162, 163

■ そ ■

宋	163
宗茂	26
曹操	163
宋代三大発明	161, 165
宗猛	26
ソウルジェム	100
ソーシャルゲーム	21
ソメイヨシノ	23

## ■ た ■

ダービー	167
大罪	69, 77
大シスマ	76
ダイヤモンドステークス	177, 178
ダイワスカレット	175
武内崇	41
たつき	15
タツノオトシゴ	27
タマスコのイオアン	19, 94, 100
他力本願	65
弾丸マン	50
タングート	163
男性特権	36
歎異抄	66

## ■ ち ■

知的障害	115
知的障害者の権利宣言	152
チャガタイ	31
注意欠陥多動性障害	112, 115
中国	165
チュルク民族の大移動	164
懲罰	70
チンギス・カン	31
チンギス統原理	33
チンパンジー	18, 34

## ■ て ■

出アフリカ	17
定型発達者	112, 114, 117
貞潔	69
データバース	20
データバース消費	20
デニソワ人	18
天使	75, 94
天台宗	26
天皇賞・秋	178
天皇制	162
天の王	98

## ■ と ■

とある魔術の禁書目録	22
唐	163
トウカイトリック	177
東京競馬場	177
東西教会の分裂	99
同性愛	69
道徳的責任感	19
動物化するポストモダン	20
東北通	174
トゥルイ	31
特例子会社	155
突厥	163
共働	73
共働説	66, 77

ドリー	23		
とりなし	96		
ドリフターズ	107		
		<b>■ な ■</b>	
長篠の戦い	166		
長森瑞住	42		
中山競馬場	178		
奈須きのこ	41		
謎の白い液体	64		
		<b>■ に ■</b>	
ニザール派	30		
西ローマ帝国	164		
2ちゃんねる	42		
日蓮	67		
日蓮宗	65		
ニッサのグレゴリオス	75		
二倍体	27		
日本ダービー	29		
ニューディール政策	150		
ニルス・エリック・バンク  ミケルセン	153		
任天堂	44		
		<b>■ ね ■</b>	
ネアンデルタール人	18		
		<b>■ の ■</b>	
ノーザンファーム	171		
ノーマライゼーション	152		
		<b>■ は ■</b>	
葉鍵	41		
ハサン中田考	71		
秦	161, 162		
発達障がい	111, 119, 120		
発達障害	112		
発達障害者	112		
発達障害者支援法	111		
バッチャーニ・グスターフ	28		
鼻出血	178		
ハヌマンラングール	34		
ハプログループC2c1(C1F2613)系統	31		
叛逆の物語	94, 96		
阪神ジュベナイルフィリーズ	178		

## ■ ひ ■

東日本大震災	60, 118
東ローマ帝国	96, 164
非子	162
ヒトに関するクローン技術等の規制に関する法律	27
百丈懐海	149
平昌オリンピック	50
ヒルナンデス	154

## ■ ふ ■

ファイナルジュ	179
ファウスト	95
ファミリーコンピュータ	44
フィリોકエ問題	99
フェアトレード	154
フェアリーステークス	177, 178
フェイト・テスタロッサ	22, 39
フェミニズム	48
フォゲッタブル	177
福音派	78
福岡伸一	33
フジキセキ	169
仏教	163
仏説無量寿経	65
普遍救済主義	80
プライムステージ	178
ブラック企業	152
ブリークネスステークス	172

フリードリヒ・エンゲルス…………… 149

プリティキャスト…………… 178

フレグモーネ…………… 178

フレンズ…………… 19, 20

プロテスタント…………… 19, 65, 72, 78, 94, 95, 96, 99

フン族…………… 161, 162, 164

## ■ へ ■

ヘルモントステークス	172
偏在する	96

## ■ ほ ■

法定雇用率	141
法定雇用率制度	153, 155
母系相続	162
法華経	52, 67
ポストモダン	20
ボトルネック効果	29
ホルスタイン種	175
ホルテ	31, 32
ホロコースト	141

## ■ ま ■

マカバイ記	78
魔獣	94
マチカネタンホイザ	177, 178
マックス・ウェーバー	149
マット・リドレー	28
まどか教	63
魔法少女	59, 93, 97, 100, 103
魔法少女たると☆マギカ	101
魔法少女まどか☆マギカ	21, 41, 59
魔法少女リリカルなのは	22
魔法使いサリー	60
マヤノトップガン	167
マルクス主義	20
マルティン・ルター	77

## ■ み ■

美樹さやか	103
ミクラー	69
御坂美琴	22
ミジンコ	34
ミツワー	69
ミトコンドリア	33
宮崎勤事件	48

## ■ む ■

無原罪の御宿り	77
ムムタズマハル	30

## ■ め ■

メルキト	32
免罪符	77

## ■ も ■

萌え属性	20
物語消費	20
モルゲッソヨ	50
モンケ・カアン	33
モンゴル史	32
モンゴル帝国	161, 165

## ■ や ■

社台の運動会	175
--------	-----

## ■ ゆ ■

優生思想	141, 145
有性生殖	27
優生保護法における断種手術強制問題	141
遊牧民族	164, 165
ユダヤ教	65, 68, 78, 94
ユダヤ教徒	68
ユダヤ人	68, 145
ユビキタス	99

## ■ よ ■

四十八願	66
横山光輝	59
吉田勝己	172
吉田権太郎	175
吉田聖子	106
吉田善助	175
吉田善太郎	174
吉田善哉	174
よしだみほ	167, 172
予定論	78, 79
夜と霧	107
四倍体	27

## ■ ら ■

ラエリアン・ムーブメント	24
ラシード・ウッディーン	32
羅針盤	161, 163
ラディカル・フェミニズム	48
乱婚制	34, 35

## ■ り ■

リー・ヴァン・ヴェーレン	28
理性	19
リトルバスターズ!	41

## ■ る ■

ルーテル派	78
ルター	150

## ■ れ ■

レイ・ボーリック	174
煉獄	73, 77



■ ろ ■

労働は自由への道	147
ローマ・カトリック	24, 65, 73, 76
ローマ帝国	163, 164, 165
六信五行	70
ロシア	164, 165
ロスジェネ	43
ロマ	145

■ わ ■

ワーキング・プア	44
Y染色体	33
Y染色体ハプログループ	31
ワルブルギスの夜	95

■ ん ■

ヴァイキング	165
ヴァーガン	162
ヴィクトール・田・フランクル	107

現代焚書 総集編 1  
2021年までのヨーシャの軌跡

---

2022年1月15日 初版第1刷 発行

著者 ヨーシャ

連絡先 ヨーシャ (iosha@huideyeren.info)

---

©2018 - 2022 恢徳堂

